

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

旧三井家下鴨別邸の運営について

重要文化財 旧三井家下鴨別邸は、市民の文化の向上及び発展に資することを目的として、一般公開を開始した施設であり、年間約5.5万人の方々にご来場いただいています。

施設の主な取組（概要）

○ 自主事業の企画・実施

主屋2階・3階望楼の特別公開、呈茶イベント、ランチプランといった自主事業を企画・実施しています。

○ 情報発信

ホームページやSNS等で、施設や自主事業に関する情報の発信を行っています。



旧三井家下鴨別邸に関する収入と支出（概数）

利用者1人当たりには換算すると、上記の取組などによる年間の支出は520円（総額2.9千万円）、利用料などの収入は520円（総額2.9千万円）です。

<支出：520円（総額2.9千万円）>

総務事務費	職員人件費	施設管理費	維持修繕費
90円	160円	250円	20円

<収入：520円（総額2.9千万円）>

貸室料	入場料等
70円	450円

※ 上記の概数は、令和4年度の運営状況から算出しております。